

高等学校 第1学年 国語科学習指導案（略案）

指導日時：平成28年8月30日（水）第2校時

指導学級：第1学年3組教室

指導者：宮城県石巻西高等学校 | 1

教諭 藤咲 智也

1. 単元名 漢文入門（第一学習社「高等学校 新訂 国語総合 古典編」
学習材 訓読に親しむ）

2. 授業のねらい

- ・漢文の訓読・書き下しの手法を身に着ける。

3. 指導過程

段階	学習内容	形態	指導上の留意点	評価
導入 10	1 前時の内容を振り返る。 ・ 振り返りの種類 ・ 再読文字について 2 本時の学習課題を知る。	一斉	・ 簡単な質問を指名して答えさせる。その際前回までのノートを見ながら答えてよいことを伝える。	
訓点と再読文字の使われ方を理解する。				
展開 35	3 本時の活動を確認する。 4 教え合い活動 ・ 黒板にネームプレートを貼る。 ・ 配布プリントに取り組む。その際は個人での取り組み、ペアやグループでの取り組みについては自由。 ・ 解き終わったものは教室内四カ所に掲示した解答で答え合わせをする。 ・ 内容を理解できたらネームプレートを裏返す。 ・ 全員のネームプレートが裏返るまで活動を続ける。	一斉 個人 ペア グループ	・ プリントに取り組む際はノートや便覧等を見ながらでも構わないことを伝える。 ・ 積極的に教え合いを行うように指示する。特に解き終わった者は悩んでいる者に率先して教えにいくよう伝える。 ・ 全員のネームプレートが裏返ることの大切さを伝える。	【知識・理解】 ・ 訓点のルールに従って書き下し文を作ることができる。 ・ 書き下し文を参考に正しく訓点を振ることができる。 (活動/プリント)
終結 5	・ 本時の振り返り ・ 次時の見通し	一斉	・ 書き下し文を作ることが漢文読解の基本となることを確認する。	

